

第 41 回運営委員会議事録

日時： 2017 年 1 月 24 日（木）午後 6 時～午後 8 時 45 分

場所： 青山学院大学経営学部グローバル・ビジネス研究所内セミナールーム（8 号館 6 階）

出席者： 駒木文保（東京大学），田村義保（総合研究大学院大学），福井武弘（青山学院大学），今泉忠（多摩大学），西郷浩（早稲田大学），舟岡史雄（日本統計協会），中西寛子（成蹊大学・名誉教授），美添泰人（青山学院大学）

書記： 藤森裕美（青山学院大学），保科架風（青山学院大学）

委任・欠席： 竹村彰通（滋賀大学），狩野裕（大阪大学），山口和範（立教大学），宿久洋（同志社大学），岩崎学（成蹊大学），渡辺美智子（慶応義塾大学），川崎茂（日本大学）

資料

（資料 0）第 39 回運営委員会議事録（案），第 40 回運営委員会議事録（案）

（資料 1）各大学の活動

（資料 2）主要委員会の活動

（資料 3）2017 年 2 月 17 日「JINSE 成果報告シンポジウム」（案，改訂版）

（資料 4）2017 年 2 月 28 日「大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム in 金沢」

（資料 5）2017 年 3 月 5 日 日本統計学会春季集会 企画セッション

（資料 6）拡大版 JINSE 関連

（6-1）「拡大版 JINSE 創設の案内」（改訂版）

（6-2）「拡大版 JINSE 会員規約」

（6-3）「JINSE 版統計検定運用規程」

（6-4）「JINSE 準備委員会運用方法と課題」

（6-5）「JINSE 運営委員会規則（案）」

（参考-1）運営委員会議題関連報告・検討課題のメモ

議題

0. 第 39 回，第 40 回運営委員会議事録を資料 0 に沿って確認し，若干の修正の上で承認された。

1. 各連携大学の活動報告

資料 1 に沿って，各連携大学の活動報告が以下のように行われた。

東京大学（駒木文保）

（1）統計教育教材コンテンツの準備

滋賀大学（竹村彰通）

（1）AO 入試にも利用するための高校生向けの mooc を制作中

（2）SAS 社との共同認証プログラムの検討を行った

大阪大学（狩野裕）

- (1) 大学院等高度副プログラム「データ科学」関係の業務
 - 1.1 副プロ科目「意思決定とデータ科学」の講義補助. 3名ゲストスピーカーの諸手続き
 - 1.2 H29年度「データ科学特論」の講師選定と依頼
 - 1.3 H29年度への準備（担当講師雇用手続きなど）

総合研究大学院大学（田村義保）

- (1) 統計教育大学間連携ネットワーク高大連携委員会と共同で、2月18日に宮崎市民文化ホールで開催される「理数系教員授業力向上研修会（宮崎） オープンデータ利活用と地域創生に向けたデータサイエンス力・統計的問題解決力の育成」を統計数理研究所が主催した。
- (2) 高大連携委員会の活動に協力し、2016年12月18日にスポーツデータ解析コンペティションを統計数理研究所で開催した。

青山学院大学（福井武弘・美添泰人）

- (1) JINSE ホームページの英語版について、ウェブに掲載する素材を作成し、順次、提供する。
- (2) 2017年2月の2つのシンポジウムについて、準備を進めている。
- (3) 2017年4月以降の拡大版 JINSE について、準備を進めている。

多摩大学（今泉忠）

- (1) 2016年11月27日に連携校向け統計検定を実施した。
- (2) 多摩大学として拡大版 JINSE に参加することを決定した。
- (3) 2017年2月の2つのシンポジウムについて、準備を進めている。
- (4) テキスト作成に関して動画の収録・編集を行った。

立教大学（山口和範）

- (1) 次年度向けの CSI のパンフレットの作成（提供科目の案内と統計検定の紹介など）
- (2) データサイエンス副専攻の準備
- (3) 英語での統計教育に関する準備
- (4) 次年度に向けた e-learning 科目「多変量解析」のコンテンツ修正

早稲田大学（西郷浩）

- (1) 2016年度筆記試験（統計検定3級利用）の結果にもとづく、2017年度「統計学入門」（春学期・秋学期）の内容・講義方法の変更を検討した。

同志社大学（宿久洋）

- (1) 連携校向けの統計検定の修正を行った。
- (2) SAS社との共同認証プログラムの検討を行った。

2. 主要委員会の活動報告

2.1 外部評価委員会（舟岡委員長）

- (1) 平成28年度の事業評価委員会について、日程を調整している。
- (2) 外部評価委員会報告書を確定した。

2.2 質保証委員会

- (1) 参照基準の公表形式について、最終的な調整を実施している。

2.3 カリキュラム策定委員会

- 情報科学，総合理工学分野以外の分野のカリキュラム案を公開した。
- 参考となる統計教育のサイトとオープンデータのサイトの一覧を作成し，許諾が必要となる機関に問い合わせを行っている。確認が終了後，教材に追加する予定である。

3. 2017年2月17日「JINSE 成果報告シンポジウム」

資料3「2017年2月17日 JINSE 成果報告シンポジウム（案）（改訂版）」に沿って，2017年2月17日に青山学院大学で開催される JINSE 成果報告シンポジウムの計画・準備状況について報告と確認が行われた。連携団体の挨拶については，今後日本科学技術連盟の関係者に依頼することとなった。シンポジウムプログラムについて，連携大学の主要成果の報告にある「他大学（まとめて運営委員から書類を提示）」は，活動の概要の報告において提示することとした。

4. 2017年2月28日「大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム in 金沢」

資料4に沿って，2017年2月28日に金沢東急ホテルで開催される大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウムへの対応について報告が行われた。パネル用ポスターは同志社大学の協力を得て青山学院大学が作成する。シンポジウムには，代表校である青山学院大学から4名（事務担当1名，教員3名）が参加する。

5. 2017年3月5日「日本統計学会春季集会 企画セッション」

資料5に沿って，2017年3月5日に東京・政策研究大学院大学で開催される日本統計学会春季集会での JINSE 企画セッションの計画について報告と確認が行われた。

6. 拡大版 JINSE の計画資料 6-1, 6-2, 6-3, 6-4, 6-5 に沿って拡大版 JINSE の準備状況について報告があり，以下の内容が確認された。

- 大学全体で組織会員の登録が難しい場合，複数の学部にまたがった準組織会員を認める。
- 中高の教員が拡大版 JINSE への登録について問合せがあった場合には，登録可能であると回答する。そのため「拡大版 JINSE の創設の案内」において，会員の種類に明記する。
- 「会員規約」について，法律専門家の確認を求める。
- 拡大版 JINSE の実施について，統計質保証推進協会の設立団体である日本統計学会の理事会に報告して了解を得る。

7. 庶務事項

7.1 拡大版 JINSE に対する統計質保証推進協会の対応

参考資料1に沿って，拡大版 JINSE に関する統計質保証推進協会における検討状況について報告が行われ，以下の通り確認された。

- 運営委員が会員の入会を承認する。
- 「JINSE 版統計検定」という名称が，異なる検定と誤解される可能性を避ける。

7.2 今後の運営委員会等の予定

- (1) 次回の運営委員会は、シンポジウム前日の2月16日18時から開催する。場所は、青山学院大学経営学部グローバル・ビジネス研究所内セミナールーム（8号館6階）を予定している。

以上